

Microsoft Power Platform を活用した ERP パッケージ周辺業務 デジタル化支援サービス



お客様の抱える課題

- ◆ スケジュールやコスト、技術的面で ERP パッケージに適さなかった業務を手作業や表計算ソフトなどを使った非効率な方法で行っている
- ◆ ERP パッケージに統合されていないデータが存在し、データの一貫性が欠如しておりその結果、経営判断が困難になっている
- ◆ ERP パッケージを導入したが、使い勝手の悪い部分がある

ERP パッケージだけでは実現できない独自業務、不足する機能を Power Platform でデジタル化します

機能追加 (PowerApps , Power Automate)

PowerAppsを使用したカスタムアプリケーションを利用することで、既存の ERP パッケージで対応することができなかった業務を行うことができるようになります。

分析 (Power BI)

Power BI を使用して ERP パッケージや他のシステムのデータを統合したレポートやダッシュボードを組織内で共有することができるようになり、迅速な経営分析ができるようになります。

ポータル (Power Pages)

Power Pages を利用することで、社外の顧客やサプライヤーなどのポータルが実現できるようになり、情報共有が容易に行えるようになります。

モバイル・UX向上 (PowerApps)

PC向けの使いやすいユーザーインターフェースの画面を利用したり、モバイルデバイス向けのアプリを利用して業務効率を向上させることができます。

何故、Power Platformか？

- ◆ ローコードでの視覚的な操作によるアプリケーション開発であるため、従来の開発方法に比べて短期間での開発が可能で、ビジネスの変化に迅速に対応できます。
- ◆ Power Platform は Microsoft 製品であるため、他の Microsoft 製品との親和性が高く Office 365 や Dynamics 365、Azure などとシームレスに連携できます。既存の Microsoft 製品を活用している企業にとって統合が容易であり、ユーザーの利便性が大きく向上します。

Power Platformによる拡張例

拡張分野	機能・業務	内容
機能追加 	AI-OCR 自動伝票登録	伝票登録プロセスを AI で自動化 エラーを減らしながら業務効率を向上できます
	AI 受注処理	受注管理プロセスを効率的に自動化します
	マスターデータ管理	マスターデータの一元管理とアクセスが容易になり、データの整合性が向上します
	自動通知	社内、社外に対しリアルタイムに重要な通知を自動で行い、業務の迅速な対応を可能にします
分析 	社内管理用レポート	ERP パッケージの業務データを視覚的に理解しやすいレポートにします
	経営分析	ERP パッケージ以外のデータも統合してリアルタイムにデータを可視化し、経営判断を行えます
ポータル 	ポータル	顧客ポータル、サプライヤーポータル、パートナーポータルなどが実現できます
モバイル・UX 向上 	モバイル対応	外出先で承認を行うなど、モバイルアプリを利用することができます
	UX 向上	普段 ERP パッケージを利用しないユーザ向けに使いやすい画面を用意することができます

※Microsoft (Azure , Dynamics 365 , Office 365 , PowerApps , Power Automate , Power BI , Power Pages , Power Platform)は、マイクロソフトのグループ企業の、米国またはその他の国における商標または登録商標です。本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。

